

# 中経論壇

経営支援NPOクラブ理事  
中谷 兼武



2月末の小中学校および高等学校への休校要請により、

新型コロナウイルスに対する国民の態度が一変したように思われる。特に都会での変化が著しい。

3月初めの土曜日、奈良の郊外に住む私は、マスクを着用せず、所用のため近鉄電車で大阪中央部まで出向いた。電車の乗客は平常の50%程度で、子供や幼児の姿はなく、80%以上の人がマスクをつけ

ている。楽々と座って、マスク姿の乗客を眺めながら、マスク着用の理由は、自身の予防のためなのか、他人への飛沫感染防止なのか考え始めた。

その時、「国土交通省及び厚生労働省からの要請により、コロナウイルス感染予防のため、手洗いおよび消毒等の励行、テレワークなどによる時差出勤等のご協力を御願ひ致します」と車内放送があった。折しも、前に座っている婦人が、やおら着用していたマスクを外し、大きなくしゃみをし、落ちて着いてからマスクを

## 新型コロナ、マスク着用とその効果

着用し平然として感染予防の要請では、咳の工賃チケットとしてマスクの着用を第一に挙げている。当初からは、マスクにウイルスを移さないため」と、マスクの機能と着用効果を明確にしていれば、マスクの欠品騒動は起こらなかったであろう。

ものづくりに長く携わってきた私は、ものの機能を中心に考える習慣が身につけており、電車内でも多くの人のマスク姿を見ながら、自身の予防の効果のほどを考えたのであるが、感染予防にはならぬ

しかし、最近では、マスクを着用しても、コロナウイルス感染防止にはあまり役立たないと言われている。厚生労働省の

コロナウイルスは正しく恐れよと言われるが、いずれにしても早くに収束することを願うばかりである。

## 自身の感染予防にならざる